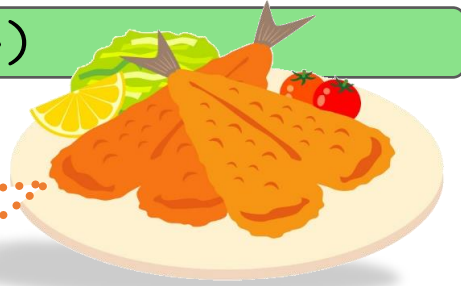


## 第2回多職種連携研修会 ご意見確認シート（アンケート）

開催日：令和2年2月23日（日）13:00～16:00

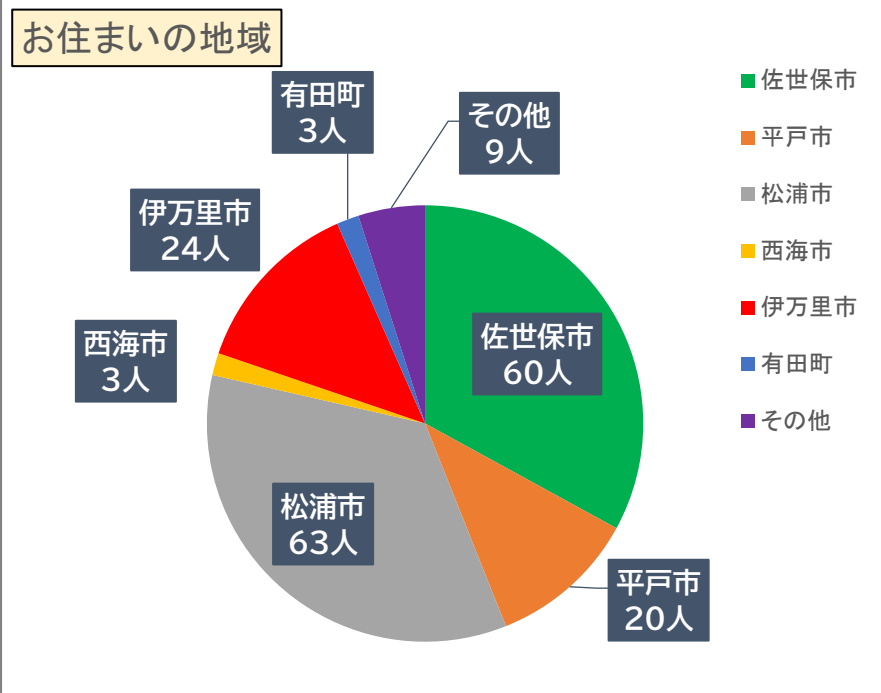
会場：松浦市文化会館 ふれあいホール

松浦市のソウルフード  
『松浦アジフライ』  
うまかよ〜っ？

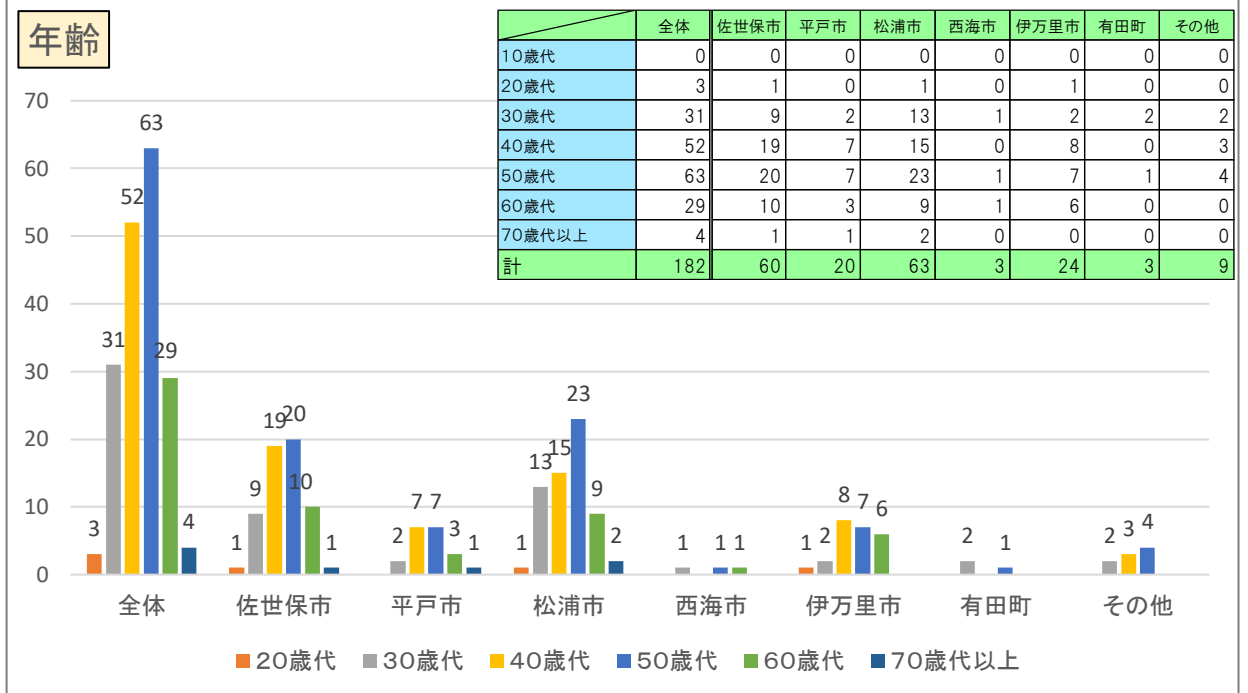


参加者数	213	アンケート対象者数	204	アンケート回答者数	182	回収率	89.2%
------	-----	-----------	-----	-----------	-----	-----	-------

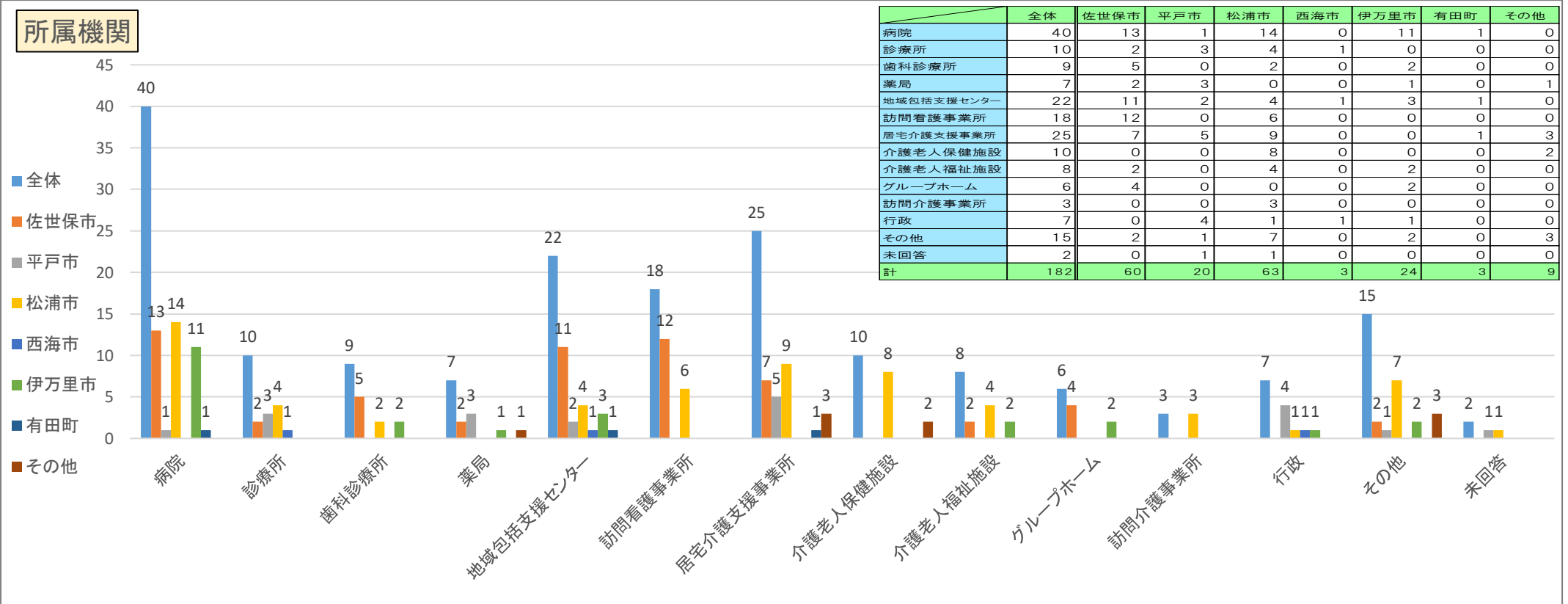
### (1) あなたのお住いの地域についてお聞きます



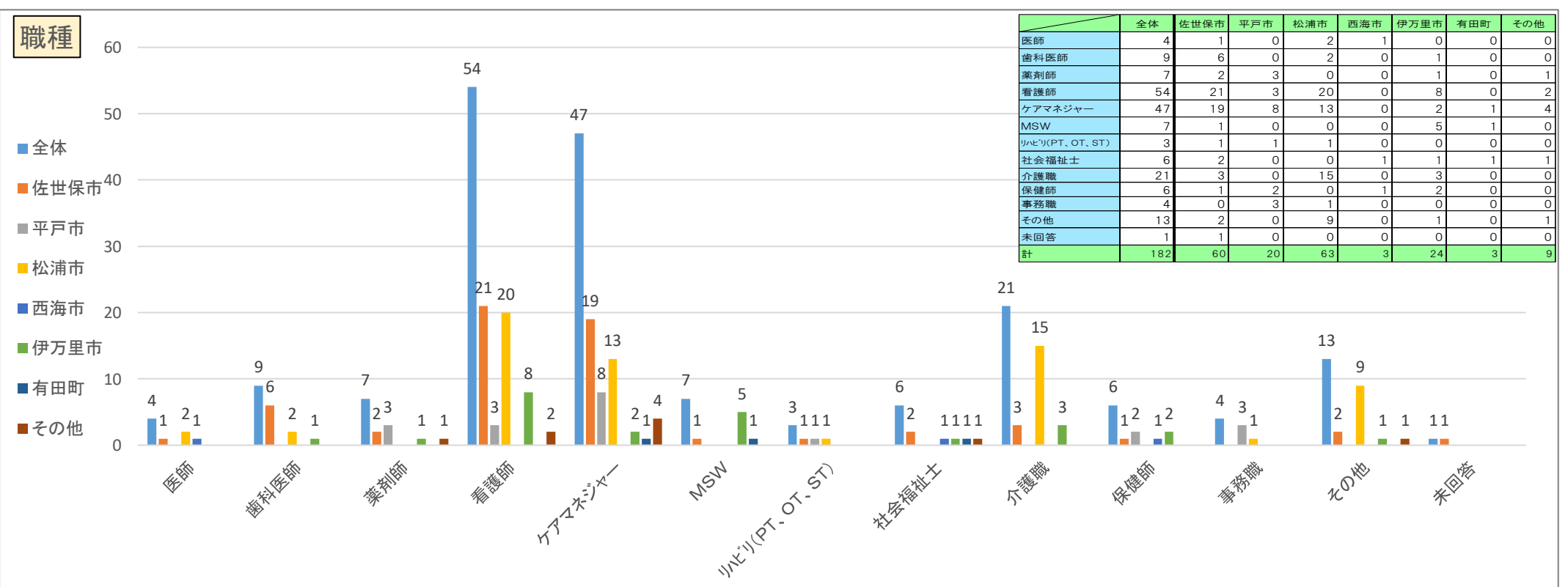
### (2) あなたの年齢についてお答えください



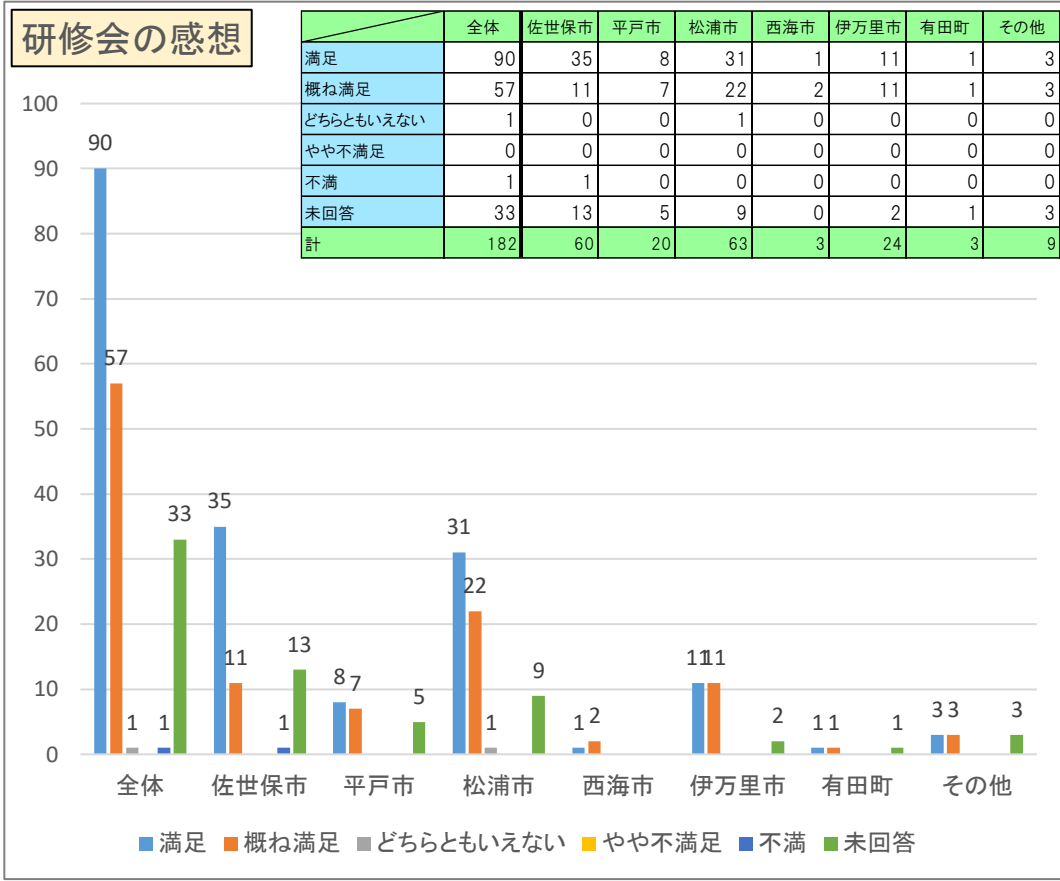
### (3) あなたの所属機関についてお答えください。



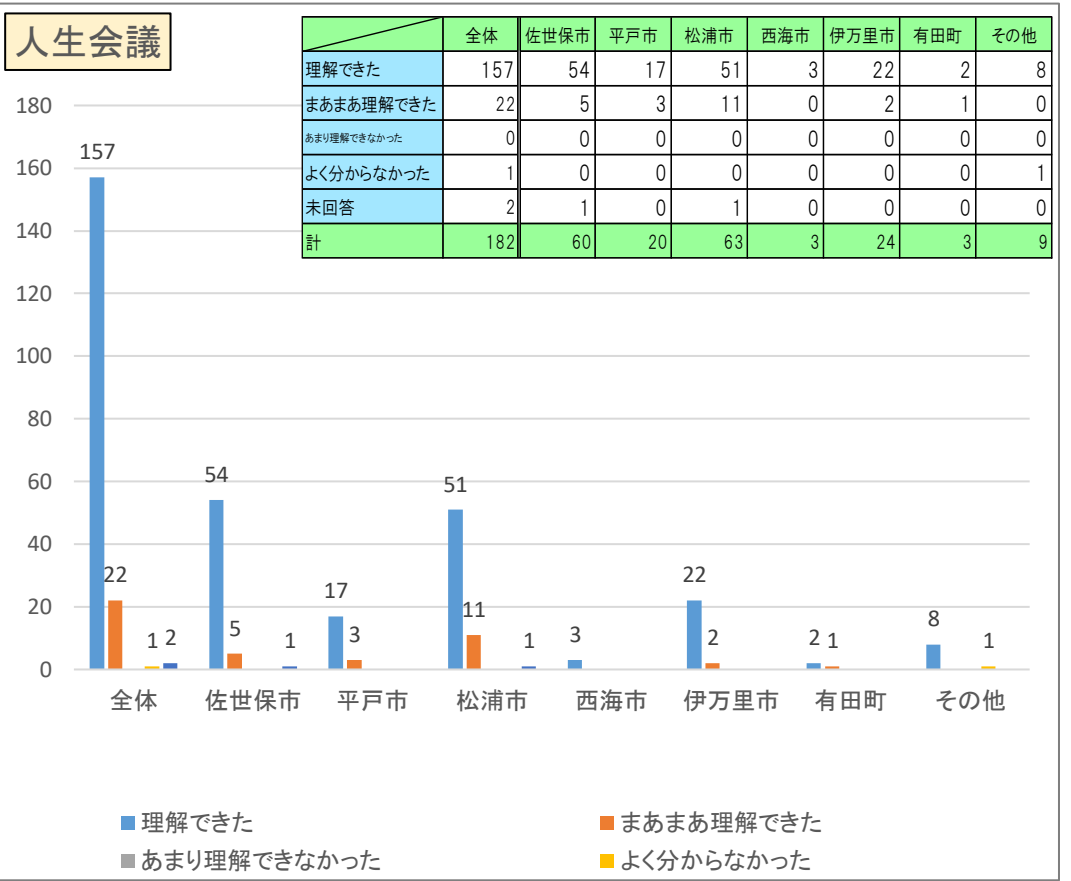
### (4) あなたの所属機関において主としている業務の職種をお答えください。



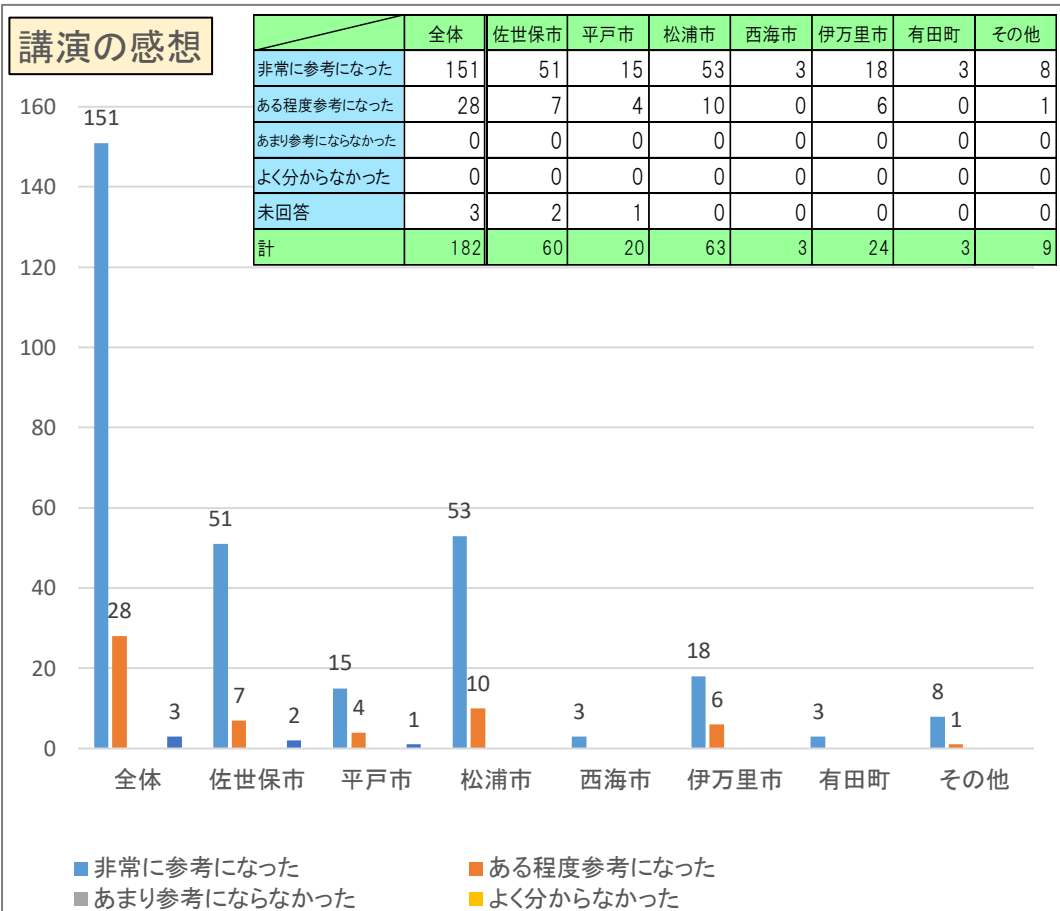
(5) 本日の多職種連携研修会はいかがでしたか？



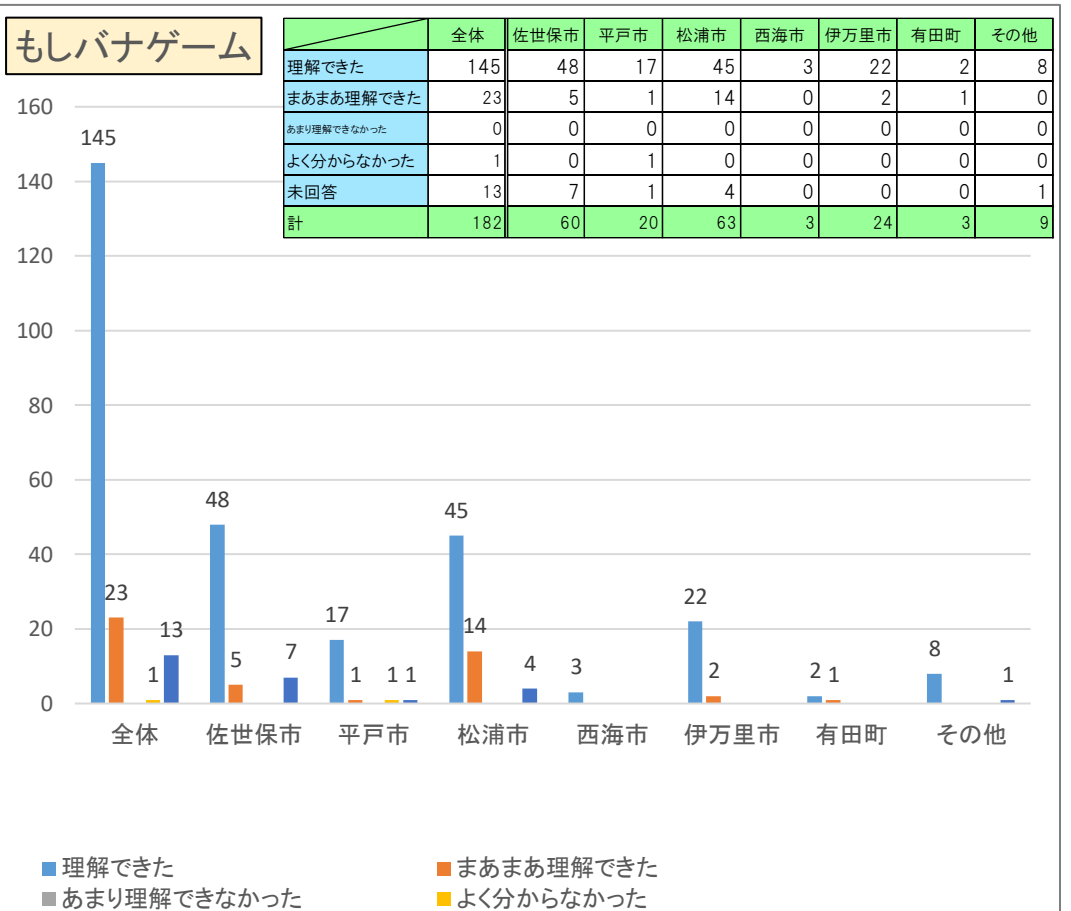
(6) 第1部『ACP啓発DVD』を見て、ACP・人生会議について理解できましたか？



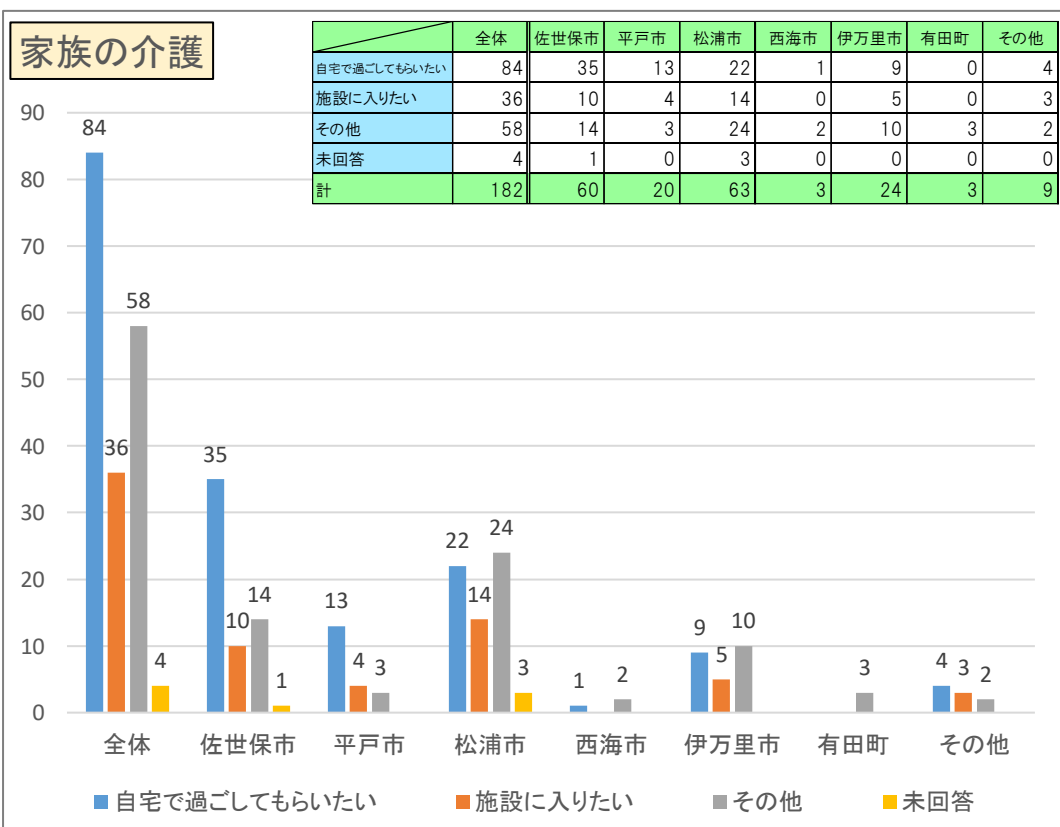
(7) 第2部 講演『人生会議について考える』はいかがでしたか？



(8) 第3部 グループワーク(もしバナゲーム)は大切なものを考えるきっかけになりましたか？



(9) 家族の介護が必要になったとき、あなたはどのようにしたいですか？



(10) (9)でお答えになられた理由を教えてください。

**【自宅で過ごしてもらいたい(現在自宅で過ごしてもらっている)】**

- ・自宅で過ごしてもらうことで一緒に過ごせる時間が増えると思う
- ・きっと自宅で過ごしたいと思っていると思う 母は施設に入れてと言っているが、それは子供に迷惑をかけたくないからであって、本心ではないと思っているから
- ・最期まで家にいて欲しい。できる限り介護したい
- ・病院や施設は安全だが管理されているため、家で自由に過ごさせたい
- ・今、肝臓がんで治療中の祖父が入院しています。本人が望めばかなえてあげたいけれど、看取りをしてくれる医師がいなければかなえてあげられない(鹿町在住の祖父)
- ・色々な患者様をみてきて、病院で最期を迎えるより、家族と一緒に自宅で生活し、最期を迎えた方が幸せだと思うから

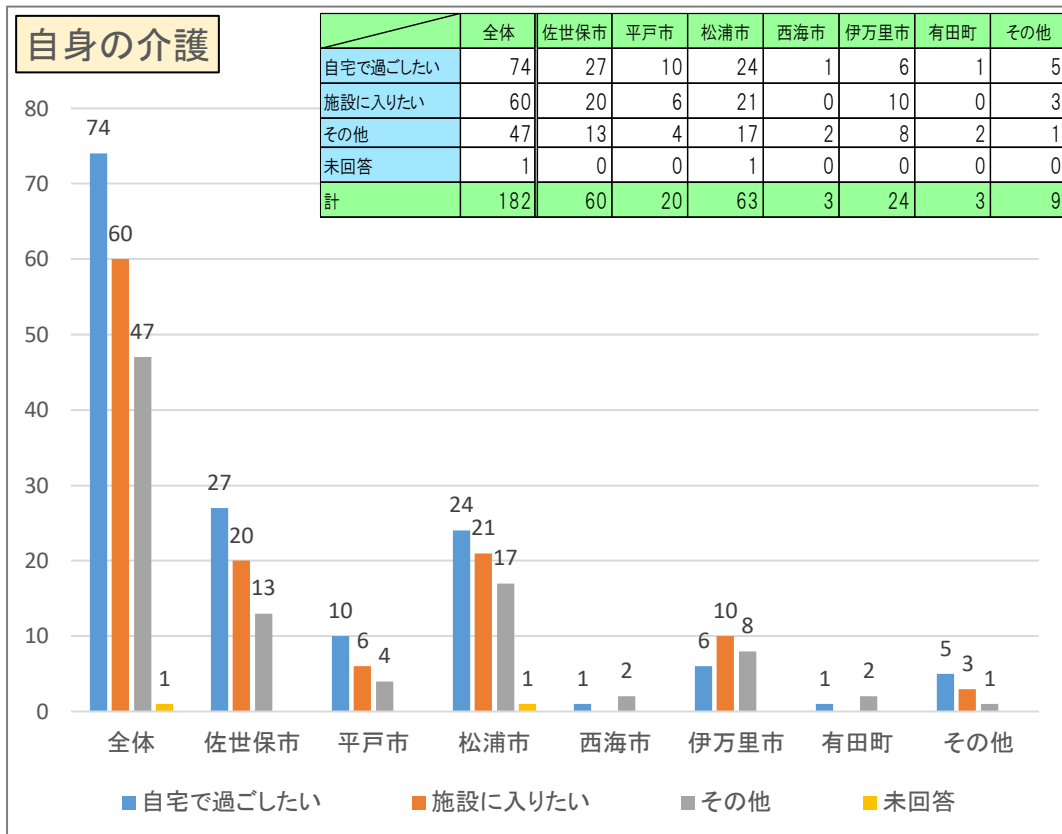
**【施設に入りたい(現在施設に入っている)】**

- ・自宅での介護は親子関係を壊す可能性があると思う。自分の親だから遠慮もない。仕事だからできると思っている。それに施設入所の方が「その人らしさ」を引き出して元気に過ごすことができていると思う
- ・仕事が辞められない。介護休暇も取りにくい。覚悟が出来ていない
- ・在宅での限界はどうしてもあると思うので、途中のシフト変換は十分に考えられると思う。最終的にはマンパワーだと思う
- ・島で生活をしている(親が)ため、介護を必要とした場合、行くことができないので、施設しか頼るところがない
- ・大切な人を自宅で介護したい気持ちはあっても仕事がある、家事もある、負担も大きい。行政のサービスをまだまだ充実させる必要がある
- ・施設は誰かが見守ってくれるので安心感があるので私自身介護しながら利用者様の笑顔で家族以上の信頼があるのだと感じているから

**【その他】**

- ・自宅で過ごしてほしいが仕事やお金の面を考えると、今決められない。介護される家族の病名状況で変わってくると思う
- ・自分(介護者)が、退職後であれば家で見てよい。就職中であると難しいので施設を考えたり説得するかもしれない。タイミングによる

(11) あなた自身の介護が必要になったとき、あなたはどのようにしたいですか？



(12) (11) でお答えになられた理由を教えてください。

**【自宅で過ごしたい】**

- ・自宅が落ち着く。でも家族の負担が出たとき、落ち着く場所ではなくなると思うのでその時は施設に
- ・好きなものを食べて、好きなものを飲んで、好きなところに行って、家族と過ごしたいから
- ・苦痛を感じない方法であれば自宅に居たいが(長くいたいとは思わない、死ぬこと自体に不安はないが、死んでいくまでに苦しいことに耐えられない)病院で点滴しながらはれまくって吸引ズルズル続くのは嫌。枯れていくのを苦痛なく受け入れるような場所は・・・
- ・病院では自分の時間が持てない。治療を優先されるため、自分らしい時間がありません。だから家で過ごしたい。
- ・夫の姿を見て本当に良かったと思ったから。
- ・自分らしく生活できる場所で安心して過ごしたい。やはり家族と一緒に過ごし看取られたい。延命治療は私も考えていないが(痛み、苦しさは耐えられないので、その部分は助けてほしい)

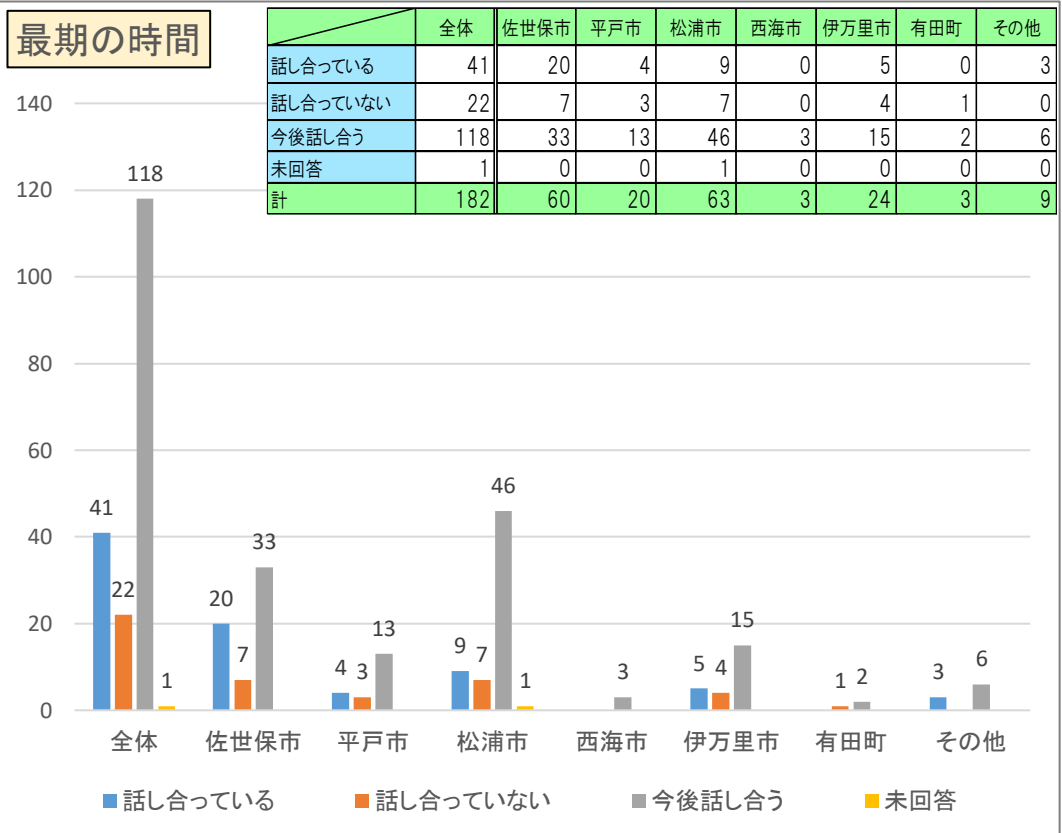
**【施設に入りたい】**

- ・家族に迷惑をかけたくない(43人)
- ・自身が福祉に勤めているため大変なのでわかる
- ・施設は誰かが見守ってくれるので安心感があるので私自身介護しながら利用者様の笑顔で家族以上の信頼があるのだと感じているから

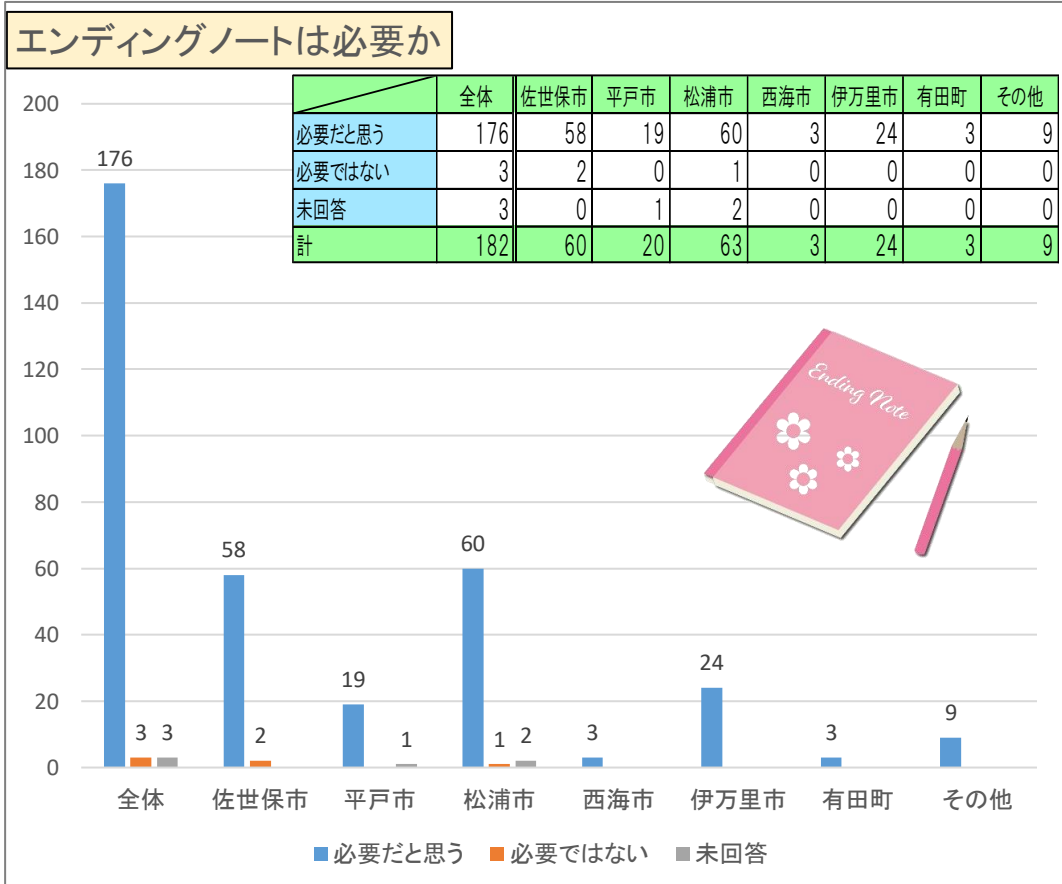
**【その他】**

- ・なるべく自宅で過ごしたいと思うが、家族に無理はさせたくないで、自宅にこだわりすぎないようにしたいと思っている
- ・家族の仕事やお金も考えないといけないので、家族の考えに任せる
- ・自分が病気になって介護が必要となったときの想像ができない。どうしていききたいかは家族の希望や意見を聞きたい。自宅は家族に迷惑がかかるし、施設も行きたいとも思わない。
- ・その時にならないとわからない
- ・シェアハウスのような所で、気の合った人たちで生活できるようところで仲間と共に最期まで居たい
- ・自分の気持ち(家で過ごしたい)を伝えつつ、介護者になってしまう同居の家族と話し合って決めたい

(13) あなたは、あなたや家族の方の最期の時間の過ごし方(延命治療)について家族と話し合っていますか？



(14) あなたは、エンディングノートは必要だと思いますか？



(15) (14) でお答えになられた理由を教えてください。

**【エンディングノートは必要だと思う】**

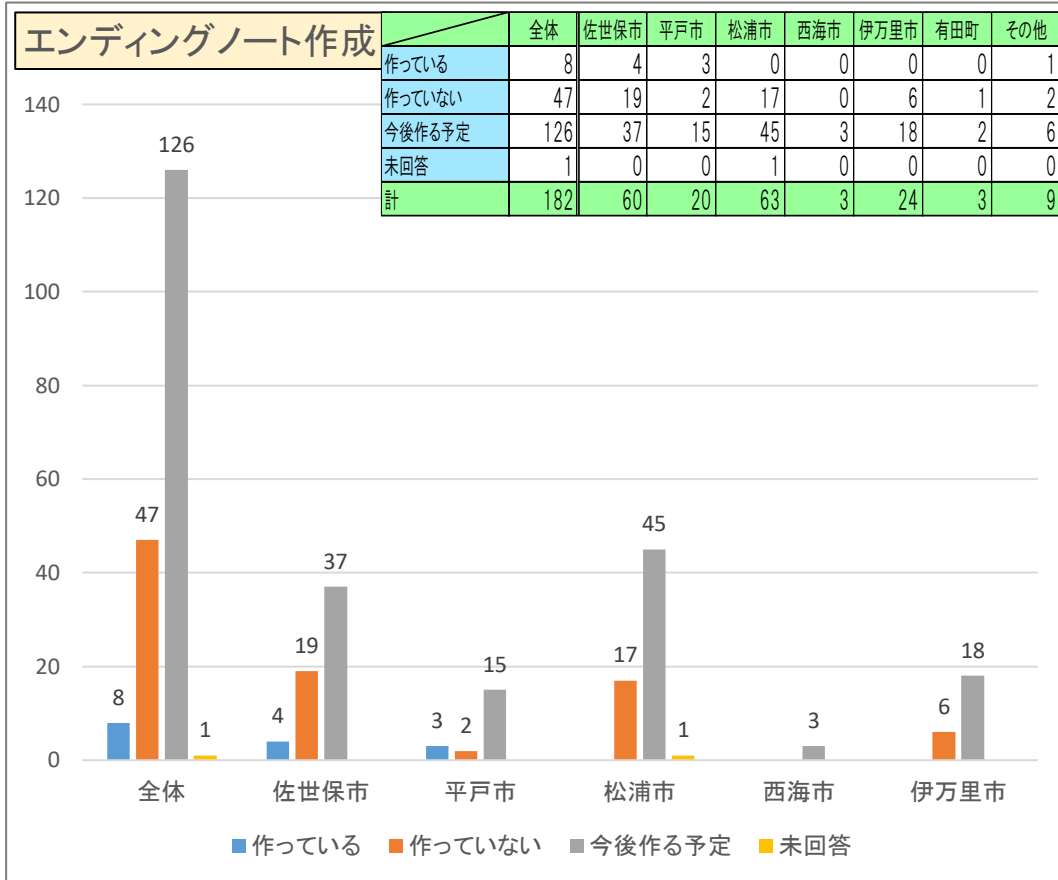
- ・自分の考えをまとめるいい機会づくりになると思うし、思いをきちんと伝えるいいツールになると思う
- ・亡くなった家族はエンディングノートがなかったので、最期の時にいろいろ困った
- ・口で言うのは恥ずかしさもあり、書く方が素直に思いを出せると思う
- ・死に方も考えたいが、どう生きるのか、自分自身の整理と家族へ残したい事を考えていくことは大切と思う
- ・昨年、大腸ポリープ切除術を受けたとき、もしガンだったらと思ったら、日常生活の全てがストップするくらいパニックになりそうになったことがありました。家族や周りの人に対してもエンディングノートは思いやりだと思う
- ・周りで判断できない事や、難しい時に本人の希望があれば、気持ちの面での負担や後悔を残さなくて済むから
- ・自分以外の人間に自分の考えや意思はわからないし、伝わらないと思うから。また、話し合いをすることで家族の気持ちを尊重しつつ(介護ができるできない、生きてほしい等)プランを決めていきたい
- ・数年前父の入院の際し、意思の確認ができず、相談相手もおらず、悩んだ体験から、事前に聞いておくことと選択するのも自分の気持ちも楽になると思う
- ・本人の価値観が理解できて本人の望む人生を過ごすことが出来るため
- ・自分の思いを伝えておきたい。また、自分がこの世にいなくなっても、家族のつながりになってほしい
- ・DVDでもあったように、同居の家族だけ本人の希望をわかっていても、他の家族が分かっていないことが多いと思う
- ・口頭での聞き取りは「言った」「言ってない」の問題、伝わるうちに内容が変わってしまわないように確認することが出来るから
- ・私は兄弟もおらず、子供一人のみ。遠方に居るので、日頃話すこともなく、自分が病気で初めて子供が駆けつけてくるパターン。「先生にお任せします」と言わないように、私がしっかりしてほしいこと・してほしくないことを伝えておきたい

**【エンディングノートは必要ではない】**

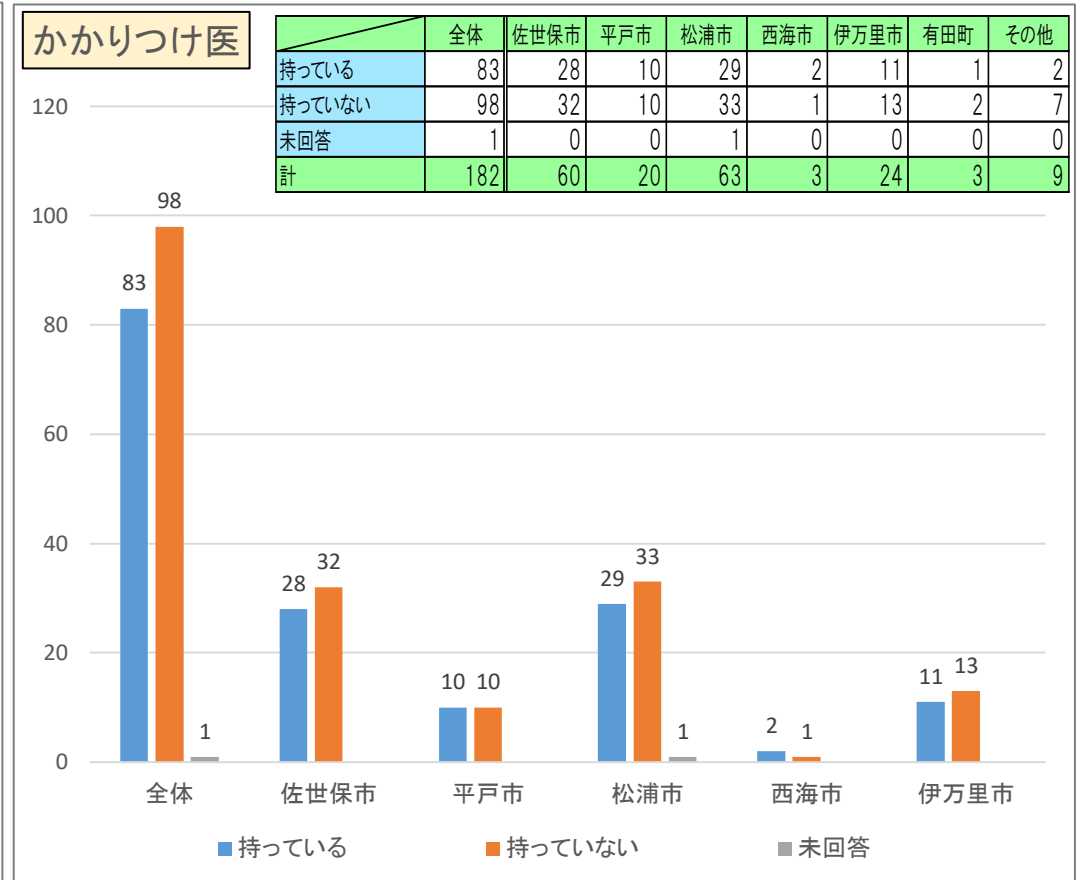
- ・考えは変わっていくから。普段から話している
- ・日頃から話し合っていればエンディングノートは必要ではないと思う(個人で書きたい人は書いていいと思うが)



(16) あなたは、エンディングノートを作っていますか？



(17) あなたは、現在「かかりつけ医」はお持ちですか？



(18) 本日の研修会についてのご意見や感想、今後の研修内容のご希望等ございましたら、どんなことでもかまいませんので、ご自由にお書きください。

【研修会の感想】

- ・とても良かった。研修という形で参加したが、自分の中にあるものを振り返り、新たな気づきを得られるすごく奥の深い内容でした。中尾先生のお話も優しく聞きやすかった
  - ・ACPの研修は2回目となります。2回目にやっと少しモヤがかかっていた部分がすっきりしたと思います。しかし日本の文化としてタブー視してきた部分なので、難しいという印象があります。ACPでの問題がもう一つ、主治医との連携が取れていないのでは？と思うことがあります。中尾先生みたいな先生があふれる位いたらいいなとしみじみ思った今回の研修でした
  - ・対話することの大切さ、その方が何を望まれているのか知る。大切なことは何か知る、その上で、いいケアができると思った
  - ・自分の今後の人生、親の介護など考えることができた。仕事の面でもエンディングノートを勧め最期をどうしたいか確認しながら支援していきたい
  - ・今までにない広域でよかった
- もう少し映像がはつきりてたらよかったなと思いました。また普段関わらない職種の方と話をできたのでとても楽しかったです。普通のグループワークだとかきこまれて雑談できないけど、私のグループではほわほわした時間が流れたんじゃないかと思う。
- ・色々な職種と価値観が違い面白かった。人それぞれ考え方が違うことが大いに分かった。対話が大事なことも理解できた
  - ・意思決定支援チームとして動いている。先生の講演がきけて良かった
  - ・ACPについては勉強会で知識があったが、今日の研修会はわかりやすく頭の中によく入ってきたと思う。傾聴することは難しいことだが、ACPではとても大切なのだと実感した

【今後の希望】

- ・北松地区は在宅医がほとんどなく、往診医もほとんどいない状態であり、在宅看護、介護が困難な状態で他市町との連携の重要性を感じている
- ・大変貴重な研修でした。一番言いたいのは、県北に往診体制を作ってほしい。医師同士のつながりで、グループ診療の現状を県北の医師に伝えてほしい。医療機関でACPの確認のタイミングが難しい。医師も色々なタイプがいらっしゃる。人間性の良い先生に在宅医療をしてほしい。病院の医療をそのまま在宅でのではなく、あたたかいぬくもりのある医療をください
- ・大変貴重な研修でした。一番言いたいのは、県北に往診体制を作ってほしい。医師同士のつながりで、グループ診療の現状を県北の医師に伝えてほしい。医療機関でACPの確認のタイミングが難しい。医師も色々なタイプがいらっしゃる。人間性の良い先生に在宅医療をしてほしい。病院の医療をそのまま在宅でのではなく、あたたかいぬくもりのある医療をください
- ・医師会でもこのような研修を行っているのかもしれませんが、介護との連携が必要・重要ということ全てのドクターに十分に理解してもらえよう、ドクター教育も行ってほしい
- ・もっともっと理解ある医師、人員に配置が必要だと思う。たくさんの方が在宅で自分らしい最終をおくることができると笑顔の人が増える松浦市になってほしい。
- ・とても勉強になった。長崎県全体でこの高齢社会を乗り越えられるよう、在宅医療、介護連携推進事業をよりよいものにしていけたらと思う。(日々悩んでおります)
- ・自宅での介護が積極的にできるシステム(どこに相談すればいいか)などが一般の患者家族にわかるシステムを作ってほしい。本日の研修会は毎日の業務にも役立つので良かった

